



自分らしさ、大切にしている？



アンコンシャス・バイアス (unconscious bias) を御存知でしょうか。

これは、日本語で「無意識の偏ったモノの見方」のことで、日常のあらゆる場面で起きています。

例えば・・・

- ☐ “ナース”と聞くと「女性」を思い浮かべる。(男性は思い浮かばない)
- ☐ ロボットで遊ぶのは「男の子」、お人形で遊ぶのは「女の子」を思い浮かべる。
- ☐ 男性から育児や介護休暇の申請があると、「奥さんは？」と咄嗟に思う。
- ☐ 性別、世代、学歴などで、相手を見ることがある。
- ☐ 「性別」で任せる仕事や、役割を決めていることがある。

ヤギのシルー



これって私の「アンコン」かね～？



アンコンシャス・バイアスは、過去の経験や、見聞きしたことに影響を受けて、自然に培われていくため、誰にでもあるもので、アンコンシャス・バイアスそのものに良い悪いはありません。しかし、アンコンシャス・バイアスに気づかずにいると、そこから生まれた言動が、知らず知らずのうちに、相手を傷つけたり、キャリアに影響をおよぼしたり、自分自身やお子さんの可能性を狭めてしまう等、様々な影響があるため、注意が必要です。



「宜野湾市男女共同参画推進条例」
制定記念フォーラム You Tube
「あざじゃび商店」公演



～ お互いに 未来を掴もう 共同参画 ～

お問い合わせ：市民協働課 男女共同係 TEL 893-4119

めぶき図書 の紹介

学び、ふれあい、
感じる実践の場

めぶき★ふくふく情報



『うちの火星』
平岡 貞行 著
光文社



著者は、夫婦と2男2女の6人家族。著者を除く5人が、「発達障がい」といわれる特性を持っている。家族が生きやすくなるために、多くの人に「発達障がい」と呼ばれる特別な個性を持った人がいることを知ってほしい。家族は「火星」宣言、四コマ漫画は、失敗を明るく乗り越えるため父が作った《取扱説明書》平岡さんちの毎日はいつも笑顔がたえません。まずは、笑って読んで！と。ぜひ、手に取って読んでほしい一冊。

色とりどりの個性、発達障がいって？

発達障害は、広汎性発達障害(こうはんせいはいはったつしょうがい)、学習障害、注意欠陥多動性障害など、脳機能の発達に関係する障害です。発達障害のある人は、他人との関係づくりやコミュニケーションなどがとても苦手ですが、優れた能力が発揮されている場合もあり、周りから見てアンバランスな様子が理解されにくい障がいです。発達障害の人たちが個々の能力を伸ばし、社会の中で自立していくためには、子供のうちからの「気づき」と「適切なサポート」、そして、発達障害に対する私たち一人一人の理解が必要です。(政府広報オンラインより)

ふくふく講座のご案内

12月16日のふくふく講座は、発達障がいを持つ双子の娘さんの日常を描いた「ひなとかのんののおひさま日記」の著者、森山和泉さんと漫画を描くオンラインワークショップを開催します。手こずるわが子の個性も漫画にすると不思議とクスッと笑えてきつと気持ちが楽になる！

詳しくはこちら

めぶきでは、男女共同参画関連図書を蔵書し、閲覧貸出しを行っています。

貸出：月～金 9時～17時
返却：月～土 9時～21時

宜野湾市人材育成交流センターめぶき

宜野湾市男女共同参画支援センターふくふく

宜野湾市志真志 1-15-22 TEL 896-1215 / 896-1616

